

法人理念	✳キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。 ✳保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。 ✳職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。						
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎週月曜日・15時～16時45分	送迎	無	おやつ	手作りおやつ有
支援方針	テーマ「からだ」を通して空間理解の発達を促します バスごっこの中で並び順を決めたり列になったりすることで、お友だちとの距離感や前後や間、隣など空間の理解や位置の名称を覚えていきます。 縄跳びやボール渡しなどで身体全体を動かしたり、ボディパーカッションや背中に絵を描いたりしながら自分の身体の部位位置や、見えない部分も意識します。						

項目	支援内容	
本人支援	健康・生活	スプーンの操作 箸の操作の獲得 皿に手を添え利き手でスプーン、箸をしっかり握ってすくう。OTと確認しながら箸の使い方を獲得する。 簡単な身の回りの活動を自分で行う 雑巾しぼり、台拭き、お茶を入れる
	運動・感覚	動作模倣を行う ・体操・10秒ポーズ 身体全体を使い多様な動きをする ・なわとび・ボール渡し・ボディパーカッション・10秒ポーズ・背中に何描いた？・小声で伝言ゲーム
	認知・行動	体の部位がわかる あそびを通して「頭、お腹、背中、腕、足、体、お尻、首、手、お尻、首、肩、ひざ、つま先、ひじ、指、顔、目、耳、鼻、口、髪、ほお、唇、歯、下、あご」を理解する 空間理解 ・バスごっこを通して前、後ろ、間、隣、1番前など空間の位置関係を理解する。・背丈を図り、テープを壁に貼り背の高さ、大きさに気付く・色々な大きさの足形を床に貼り自分の足と比べる・9マスを使い、見本と同じマス目にシールをはりながら上、右、左、下など理解を促す
	言語 コミュニ ケーション	名詞と動詞を使って表現する バスごっこを通して、「バス」「バス停」「運転手さん」などの名詞に「座る」「立つ」「見る」「乗る」「降りる」「歩く」「行く」などの動詞をつけて話せる体験を行う。
	人間関係 社会性	「できた」「たのしい」気持ちを共感し3項関係を楽しむ ・制作活動を通して、子どもが考えて作った物を友だちも含めて共に喜びみんなの前でも、発表することで共同で物事に取り組んでいく。（着せ替え人形作り、折り紙など） バスに乗って図書館に行く ・バスに乗る時に必要なものや並ぶ順番などをみんなで話し合い、実際にバスに乗ることで公共交通機関のルールを知り、友だちと一緒に活動したら楽しい気持ちを育む。
歌・絵本など		絵本 「ばくのからだここなあに」「できるかな」 歌 「大型バスに乗ってます」「おちたおちた」「わたしよ」
地域支援・地域連携 （地域交流・園外活動）		公共交通機関の利用
移行支援		入学先の確認、小学校見学についてすすめる
家族支援		
職員の質の向上		○あそびとまなび保育・教育研究会 8/23(土)インクルーシブ保育「ともに遊び、ともに学ぶー実践より考える」 8/30(土)「環境によって保育がかわる2」 ○8/7(木)「安全マニュアル」
主な行事等		ミニバス遠足 8月25日 避難訓練(水害) 8月18日